

刊外教一致祈禱週間



2023年司教年頭メッセージ

福岡教区長 司教 ヨゼフ・アベイヤ

ヨゼフアベイヤ司教認可  
 発行所 福岡司教区本部  
 福岡市中央区浄水通6-28  
 発行人  
 カトリック福岡司教区  
 編集人 山元 眞  
 TEL 092-522-4059  
 FAX 092-523-2152  
 振替口座 01760-6-20729  
 カトリック福岡司教区  
 定価 1部70円

2023年1月29日  
世界子ども助け合いの日・献金

1月の意向

**教皇様の意向のために祈りましょう**  
**【教皇の意向】**教育にたずさわるひとたち  
**【日本の教会】**世界の平和

時の話題

キリスト教一致祈禱週間に「平和」を考える

私はネットサイト「ヤフリー知恵袋」の宗教カテゴリーは特に良く眼を通すが、キリスト教がいかにかに一般の日本人に理解されてい

我々が反省しなくてはならない事があると思う。それは異端との戦いの名の下に、つい二百年ほど前まで我々クリスチャン同士が殺し合っていた事である。私の幼少時：60年ほど前の事である。プロテスタントとカトリックは殺し合いこそ止めてもまだ激しくいがみ合っていた。

ロシアのウクライナ侵攻、ミャンマーの内戦…。これからクリスマスというのに、世界中、あちこちで戦争が行われている。世界ニュースを聞く度、心痛まぬ人はいないだろう。

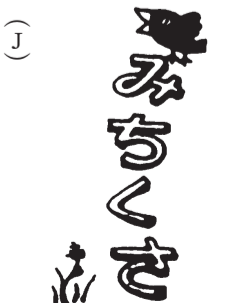
「平和を実現させる人々は幸いです。その人たちは神の子と呼ばれる」  
 我々クリスチャンがイエスの兄弟と呼ばれるためには世界に平和を実現するため、どんな微力でも：毎日、祈るだけでなく：何かしなければならぬ。

しかし、そのためには、まず我々クリスチャンが、カトリックもプロテスタントも関係なくイエスの下にひとつになることが先決だろう。

箱崎教会 糸川 銚

New "Foreign Language Section" is on page 4. 4面に「外国語コラム欄」をスタートしました。

福岡教区・教区報編集部



(J)

第3回 教区全司祭集会

福岡教区宣教司牧方針発表を受けて



2022年4月、福岡教区に「宣教司牧方針」が発表されました。教区報では、今号から「宣教司牧方針」を受け、各小教区や団体で取り組んでいること、心がけていることなどについて、具体的な活動を紹介していきます。「宣教司牧方針」は右記QRコードからご覧になれます



聖書の分かち合い 菊池教会

浄水通教会では、教区の宣教司牧方針に基づき、小教区で出来ていること、出来ていないがすぐに取り組むことができること、出来ていないので分かち合いを通して共同体で取り組むことを確認しました。そのような中、幼きイエス会のSr.金の提案により、聖フランシスコ会・釜ヶ崎ふるさとの家の本田哲郎神父様を待降節第一主日にお迎えして、「出向いて行く教会となる～弱い立場に置かれている人々と歩み、福音を証し、伝える～」のテーマのもと、講演会を行いました。

講演会では、ふたつの言葉をキーワードにお話をされました。ひとつ目はメタノイア。聖書では「悔い改め」と訳されますが、本田神父様は「視座を移す」それも「視座を低くする」と言われます。弱い立場の方を探すというのは視点が低い、上からの目線。そうではなく、視座を低くして相対することが大切だと。ふたつ目はアガペー。「愛」と訳されるものです。『自分を愛するように他人を愛しなさい』と言われますが自分を愛するという経験がありますか。アガペーの言葉は初め『ご大切』と訳されました。そこで、『自分を大切にするように、他人を大切にしなさい』ではどうでしょう。弱い立場の方にあなたを愛しますと言っても、困惑されるかもしれません。でも『大切にします』は、相手の人権を尊重することです。また、福音を証しすることは死ぬまでできます。自分自身が弱い立場になったときこそ、その力が発揮できます。視線は低くなり、自分を大切にするように他人も大切にすることからです。イエス様が大切な掟として言われたこの言葉を心に留めておいてください。『あなた方を私が大切にしたいように、あなた方も互いに大切にしたい』。



本田哲郎神父

最後に、「福岡教区の宣教司牧方針は、第2パチカン公会議の方針をコンパクトにまとめた非常に優れたもの。待降節の間、よく目を通して過ごしてください」と締めくくられました。 浄水通教会 中島冬樹

第73回 市民クリスマス

市民クリスマスの写真

福教区VS大分教区 司祭ソフボール大会

計報

Bozena Lech 氏

ルークス・レック神父(大名町教会・助任、米国ブルックリン教区)のご母堂が11月12日にポーランド・チェンストホバで帰天。享年60。永遠の安息をお祈りください。

※ソフボール大会の写真や動画が、下記QRコードからご覧になれます。



主のご降誕と新年のお慶びを申しあげます

- List of names and locations for the Christmas celebration, including: 教区長 ヨゼフ・アペイヤ, 名譽司教 宮原 良治, 教区本部事務局 青木 悟, 司教館 (ローマ留学) 船津 亮太, (聖ヒンセンシオ宣教会・ベトナム教区) フラム・バン・チュエン, 福岡地区 山頭原太郎, 島山 七郎, 浦 俊雄, 平田 敬, シン・カンス, M・パウロ, O・ベルナルド, W・マヘル, A・イルダヤラージ, 遠山 満, M・ヒルデン, 牧山 勝美, 浄水通 中村 彰, ルークス・レック, R・フイリビーニ(協), 高宮 K・ブラビン, 茶山 岩下 和樹, 西山 山元 眞, 箱崎 G・マリアノ, ピーター・トアイ, F・ブ・リン, 光丘 十時 伸治, 寺浜 亮司, 老司 大山 悟, 永富 久雄, 聖パウロ修道会 Br.小川 孝志, Br.阿部 光一, Br.夫津木 勇雄, 福岡カトリック神学院 (サン・スルピス司祭会) 牧山 強美, 湯浅 俊治, 大山 悟, Q・ベルナル, 熊川 幸徳, 嘉松 宏樹, 嘉松 宏樹, 福岡コレジオ (長崎教区) 稲田 伸也, 美野島司牧センター M・コース, 筑後地区 竹森 勇, 今村・本郷 A・イルダヤラージ(協), 大牟田 田中 重治, 小郡 川上 惣一, 久留米 青木 悟(協), 宮崎 保司, 二日市 竹内 英次, 聖マリア病院 G・ピアッツィニ, 北九州地区 飯塚 中村 信哉, 黒崎・天神町・門司 杉原 寛信, 小倉 キム・ジョンゴン, 深堀 勝人, ジョン・ウオンチヨル, 新田原 井手 公平, 田川・直方 大塚 了平, 戸畑・若松 ソ・インデック, 水巻 谷口 尚志, 湯川 イム・ドンビン, 行橋(豊津) 下町 豊重, パリ外国宣教会(八王寺) L・ベリオン, 佐賀地区 伊万里・多久 S・リチャード, 鹿島・武雄 イ・ハヌン, 唐津 江夏 國彦, 佐賀 牧山 美好, 宮原 良治(協), 鳥栖(基山) 川上 惣一, 呼子(松島・馬渡島) D・アルビン, トラピスチヌ 岡崎 才蔵, ロザリオの園 L・マネルバ, 熊本地区 荒尾・玉名 C・クラウディオ, 武蔵ヶ丘(恵楓園) 平田 三好, 荒尾 東 研(協), 崎津・大江・本渡 浦川 務, 手取・帯山 櫻井 尚明, キム・ソンチヨン, 菊池(山鹿) S・ダロイト, 健軍(高遊原) 渡辺 隆義, 島崎 A・トウルコ, 八代・水俣 H・オカロー, 真命山 C・クラウディオ, S・フランコ, 園田 善昭

不動産全般/売買・賃貸・管理
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリード赤一丸
薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店
0120-45-1616

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 (SOU-EN)
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

知りたい！  
福岡教区内の  
修道会  
宣教会⑧

福岡教区には現在 30 の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。今春より紹介している、その修道会や宣教会。第8回は、シトー会伊万里の聖母修道院です。

厳律シトー会 (トラピスチヌ)  
シトー会伊万里の聖母修道院

シトー会伊万里の聖母修道院 院長 Sr. 上野ちあき

「このよりのゆりかご」  
開設からの15年を振り返る

前編

親が育てられない子どもを匿名で預かる熊本市の医療法人「聖粒会」慈恵病院(蓮田健病院長、98床)「このよりのゆりかご」が運用を開始して今年で15周年を迎えた。これまで様々な難局を切り抜けてきた中で少なくとも159人(2020年現)の命が救われたものの、いまだに賛否が分かれる。

後編では、蓮田健理事長・院長が「このよりのゆりかご」の意義や批判について話す。

○赤ちゃんを預けるお母さんたちについて  
お母さんたちに共通することは、妊娠や赤ちゃんの存在を知られたくないこと。強姦や近親相姦、不倫などが理由に挙げられる。ダブル不倫の場合は、どちらの家庭も赤ちゃんを受け入れられない。さらに、精神に障がいがある場合、妊娠や出産を十分に理解できていない可能性もある。そうした状況で産婦人科に通わず誰にも相談せず自力出産する。最近では、

TikTokアプリで当院を知り、助けを求めて来るが目立っている。

○これまで受けた批判について  
大きく分けると3つある。1つ目は、「子捨て」を助長すること。2つ目は、子どもの「出自」を知る権利を尊重していないこと。3つ目は、自力出産の危険性や、出産間近もしくは直後に、熊本県外から当院までの移動において母子ともに命の危険があること。



インタビューに答える蓮田健院長

○これらの批判に対する当院の姿勢について  
1つ目について、全国各地で出産直後の赤ちゃん遺棄・殺人事件が起きている状況を踏まえて、当院は「命を最優先に」と、思い詰めるお母さんにもう一つの選択肢を与えられる。

2つ目について、当然ながら子どもが自分の出自を知る権利は極力尊重しなければならぬ。しかし、そう簡単ではない。強姦や近親相姦では、出自を知ることが子どもにとって精神的な負担になる場合もある。また、これまでの経験から言うと、大半の子

どもは実の親に会いたくないと言う。育ての親の方が「家族」という気持ち強いからだ。その気持ちも尊重する必要がある。

3つ目について、周囲に妊娠を知られたくないお母さんは、いずれにしても自力で出産した赤ちゃんを捨てるために移動する。当院にはゆりかごや相談室があるため、母子ともに必要な手当てを提供できる。全国各地に「このよりのゆりかご」があることを強く望んでいる。

○ゆりかごの意義・効果について  
赤ちゃんが成長して里親が子どもに出自を説明するため当院を訪れるとき、その家族が幸せそうに見えて、何より嬉しくやりがいを感じる。

※下記QRコードより、蓮田院長のインタビュー動画をご覧いただけます。

不動山殉教地で祈りを捧げる

11月13日(日)、佐賀県嬉野市の不動山キリシタン殉教地に、佐賀地区宣教司牧評議会による殉教者への追悼祈念の祈りが捧げられた。

今年も過去2年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため殉教者祈念祭ミサは断念し、宣教司牧評議会会長 牧山美好神父(佐賀教会主任)と各小教区の代表役員13人のみで、午後3時に殉教地の一つである「子捨谷」史跡

に集まり、牧山神父による献香、灌水の後、聖歌の合唱と祈りを捧げた。

不動山地区には七つのキリシタン史跡があるが、「子捨谷」史跡はその名の通り、1632年頃の佐賀藩による大規模なキリシタン討伐の際、山奥に逃れるキリシタンが、止む無く子どもを置き去りにし捨てて行ったと言われている。隣には地区の祠があり、地元の人には地区の方たちによって代々大切に祀られてきた所である。

昨年4月に佐賀教会に着任した牧山神父は「私は不動山を訪れるのは2回目ですが、この地に来ると昔の殉教者を思い起こします。私たちも彼らを模範として信仰の道を歩んでいきたいものです」と語り、参加者たちもあらためて400年前の殉教者に思いを馳せながら、祈りのひとときを過ごすことができた。

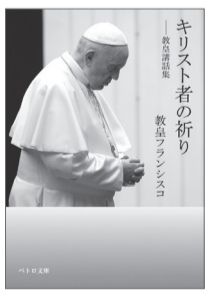
報告 伊万里教会 吉浦健次



福岡地区 養成講座 報告  
宣教・養成委員会



☆キリスト者の祈り―教皇講話集  
教皇フランシスコ(著)



2020年から2021年にかけて行われた、『カトリック教会のカテキズム』に沿った、祈りについての連続講話。旧約の父祖の祈り、御父との対話であるイエスの祈り、従順にすべてを受け入れる聖母マリアの祈りなどから学ぶとともに、教会の伝統的な祈りの形式の真価を説く。

カトリック中央協議会発行  
税込価格990円

広告掲載をご希望の方は  
下記までお問い合わせください

福岡教区本部事務局 広報部  
電話 : 092-522-4059  
メール : cdf-kouhou@nifty.com

※この枠で1回(ひと月)5,000円の献金(目安)をお願いしております。  
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会



聖マリア病院  
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422  
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター  
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5  
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん  
一緒に働いてみませんか

URL : http://www.st-mary-med.or.jp/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313  
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

サンパウロ 福岡宣教センター  
営業時間: 10:00~18:00(日曜日~16:00)  
定休日: 火曜日、祝祭日  
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26  
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930  
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

年間目標

案内板

会合と催し

12月のこよみ

【世界奉獻生活の日】講話と感謝ミサ

講話・司式：ヨゼフ・アバイヤ司教(福岡教区・教区長)

聖ヨハネ・パウロ二世教皇は、主の奉獻の祝日である2月2日を「世界奉獻生活の日」と定めました。その日に教会のすべての信者は、奉獻生活の賜物を感謝し、この道を生きるように召されている兄弟姉妹のために祈る日になっています。

福岡教区でもこの日を祝うためにミサを捧げます。修道者だけではなく、多くの信徒も参加して奉獻生活を生きている兄弟姉妹のために祈りましょう。参加できない方のためには動画配信をいたします。

日時：2月5日(土) 14:30 奉獻生活についての講話 15:15 感謝ミサ

場所：カテドラル・カトリック大名町教会

動画は下記方法のいずれかよりご視聴ください。

- ・右記QRコード
・カトリック福岡教区ホームページ http://fukuoka.catholic.jp
・YouTube→カトリック福岡教区→「世界奉獻生活の日ミサ」で検索



年間テーマ：霊性への招き

日時：1月12日(木) 10時～15時

内容：「励まし、寄り添ってくださる諸聖人」

指導者：コデノッティ・クラウディオ神父(聖ザベリオ宣教会)

次会：2月9日(木) 10時～15時

内容：「福者高山右近と日本の殉教者」

指導者：コデノッティ・クラウディオ神父(聖ザベリオ宣教会)

問い合わせ先：真命山諸宗教対話センター

☎0968・85・3100 FAX)0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7

E-mail shinmeizan@gmail.com

☆個人またはグループでの懇話会、研修会も歓迎いたします(要予約)

Calendar for December with daily entries including feast days and masses.

一みことばのお弁当
今年度テーマ「福音の女性たちと共に」

日時：1月26日(木) 10時～13時
内容：聖母と青少年イエス
同伴者：レナト・フィリビーニ神父(宣教・養成委員会 信徒養成担当)



場所：大濠カトリック会館
福岡市中央区大濠1-7-14(大濠聖母幼稚園隣)

電話：080・9101・8717(申し込み不要)

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com



3631西田

在世フランシスコ会
(日時)12月10日(土) 10時～

虹の会
(日時)12月3日(土) 11時

福岡召命を共に祈る会
(日時)12月20日(火) 13時

聖霊による刷新・福岡祈りの集い
(日時)毎週月曜日11時

ホームレスの方にあたたかい食事と衣類
毎週火曜日10時

北九州召命を共に祈る会
(日時)10月13日(木) 14時

熊本地区召命を共に祈る会
(日時)12月19日(月) 9時50分

スープの会
2月から3月の2週目まで毎金曜日

調理ボランティア
14時～ 大名町教会 1階厨房

配布ボランティア
20時集合 大名町教会 1階講堂

冬服・防寒着・毛布・靴・新品の下着、靴下

深掘 080-1793-0481 飛永 080-4317-4152

※感染対策のため参加される方は事前にご連絡ください。

福岡

子どもを亡くした親の会
(日時)12月3日(土) 11時

福岡召命を共に祈る会
(日時)12月20日(火) 13時

聖霊による刷新・福岡祈りの集い
(日時)毎週月曜日11時

ホームレスの方にあたたかい食事と衣類
毎週火曜日10時

北九州召命を共に祈る会
(日時)10月13日(木) 14時

熊本地区召命を共に祈る会
(日時)12月19日(月) 9時50分

スープの会
2月から3月の2週目まで毎金曜日

調理ボランティア
14時～ 大名町教会 1階厨房

配布ボランティア
20時集合 大名町教会 1階講堂

冬服・防寒着・毛布・靴・新品の下着、靴下

深掘 080-1793-0481 飛永 080-4317-4152

※感染対策のため参加される方は事前にご連絡ください。

熊本

熊本地区召命を共に祈る会
(日時)12月19日(月) 9時50分

スープの会
2月から3月の2週目まで毎金曜日

調理ボランティア
14時～ 大名町教会 1階厨房

配布ボランティア
20時集合 大名町教会 1階講堂

冬服・防寒着・毛布・靴・新品の下着、靴下

深掘 080-1793-0481 飛永 080-4317-4152

※感染対策のため参加される方は事前にご連絡ください。

La comunidad latinoamericana de Minoshima
福岡美野島ラテン・アメリカ共同体 M. コース神父 (スペイン)

La comunidad latinoamericana de Minoshima, en Fukuoka, se organizó en 1994 cuando el gobierno japonés comenzó a conceder el visado de trabajo a los peruanos y brasileños descendientes de japoneses.

Cada domingo muchas de estas personas iban a la iglesia para participar en la misa celebrada en español y, de este modo, recibir la fuerza necesaria para seguir caminando una semana más. Allí entonces sus cantos acompañados por la guitarra, allí encontraban la ocasión de reunirse y hablar, de compartir las dificultades que debían afrontar como trabajadores emigrantes, de informarse sobre problemas administrativos, de visado, trabajo, de salud, sobre la educación de los hijos, etc.

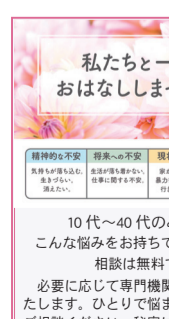
Ha pasado mucho tiempo. Cuando se cumplía el año 29 de la historia de la comunidad, vivimos un acontecimiento que no olvidaremos: ¡la visita del Papa Francisco a Nagasaki!

Escuchemos lo que nos cuenta Vicky: "Pasado ya un año de la ida a Nagasaki, recuerdo todavía la emoción que sentí al ver al Papa Francisco por primera vez. Fui con mis hijos porque quería que lo recordaran durante toda su vida. Me impresionó porque pensé que seríamos pocos, y fue todo lo contrario, En el estadio se sentía un ambiente de armonía y paz. Cuando el Papa Francisco apareció, ya el cielo estaba soleado y pudimos ver muy bien y escuchar la misa en español, algo que no esperaba. Fue una experiencia hermosa. Su mensaje de paz, su llamado a proteger la vida, al desarme nuclear y a cuidar el planeta se me quedaron grabados. Considero que nuestro trabajo como humanidad y como católicos comprometidos es cuidar, amar, respetar y valorar nuestro entorno y, poco a poco, compartir estos valores con las demás personas. Seamos ejemplo para nuestros hijos y las futuras generaciones. Dios los bendiga. Vicky Fernandez Sakai."

1990年代に日本の政府がペルー、ブラジルの日系人のために労働ビザを設けました。ペルー人が福岡に大勢働きに来られて、1994年、福岡美野島ラテン・アメリカ共同体が誕生しました。その時、毎日曜日に美野島教会でスペイン語のミサにあずかるために大勢の日系人が集まりました。彼らは神様に祈ったり、来週の働くための力をもらったり、ギターを奏で声高らかにアンデスの歌を歌ったりしていました。仲間と出会ったり、難民労働者、外国人労働者としてお互いの日々の生活の中で、ぶつかっている様々な問題を分かち合ったり(行政、入管などのビザ問題や仕事関係、健康、子供達の教育...)ももちろん子供達の洗礼、初聖体、堅信のための宗教教育などもです。

時は流れ、29年のラテン・アメリカ共同体に絶対に忘れられない大きな出来事がありました。それは、フランシスコ教皇の長崎への訪問でした。Vickyさんのお話を聞きましょう。

「一年前長崎に行って私は教皇様に人生で初めてお会いできたという嬉しい感覚を今でも覚えています。私の娘、息子と一緒にいきました。彼らはこの訪問を絶対に死ぬまで忘れないと思ったからです。当日スタジアムにいる信徒は少ないと思っていましたが、まったくその逆でした。スタジアムでは調和と平和を感じられました。教皇様が登場された時予想もしなかった曇り空が消え快晴となり教皇様をよく拝謁でき、そしてミサがスペイン語だったのでとても素晴らしい体験でした。教皇様が私達に残した平和で命を大切にすることを「核兵器を無くすことと私たちの地球を守る」ことです。今でも私は覚えています。人類として、そしてカトリック信徒として、私たちの環境を大切に、愛し、尊重し、少しずつ他の人に広めることが私たちの仕事だと思います。私たちの子供たちと未来の世代への模範になりましょう。神に感謝。」 Vicky Fernandez Sakai



スープの会 2月から3月の2週目まで毎金曜日
【調理ボランティア】 14時～ 大名町教会 1階厨房
【配布ボランティア】 20時集合 大名町教会 1階講堂
【献品】 冬服・防寒着・毛布・靴・新品の下着、靴下
【問合せ】 深掘 080-1793-0481 飛永 080-4317-4152
※感染対策のため参加される方は事前にご連絡ください。